

序

沖縄県立博物館紀要の第9号を刊行いたしました。当館の学芸員が日頃の博物館事業を推進するにあたって、それぞれの分野でテーマを設定し、調査研究した成果の一端を報告する形でまとめたものであります。博物館は単に自然史資料や有形の文化財とか民具のような「モノ」を展示・公開するだけの施設であってはなりません。展示資料がその地域の人々といかにかわってきたかを調査研究したうえで、その成果を展示に反映させる必要があります。また、毎年何回かの企画展で準備された資料を活用して、その成果を発表することも必要なことであります。

今年度は、伊江村と本部町での移動博物館の実施、常設の自然展示室の開設、3つの企画展の開催、博物館文化講座100回記念、県対県同志の交流展である特別展「熊本県の歴史と文化」の開催など、きわめて大きな仕事集中しました。この紀要はそのような多忙な中であってまとめあげた研究成果の一部であります。この成果が広く一般に活用されるとともに、今後の研究に資するところがあれば幸いに存じます。

なお、本号には、博物館文化講座100回記念講演に講師としてお招きした、奈良国立文化財研究所々長坪井清足先生のご講演の一部を掲載させていただきました。坪井先生のご講演は、特にヨーロッパの博物館を視察された際に得た知見を、スライドを示しながら解説されたもので、今後の博物館における望ましい歴史展示の方向を啓発されたものとして、きわめて有益な内容となっておりますので、多くの方々に読んでいただきたいと願う次第であります。

昭和58年2月15日

沖縄県立博物館々長

大 城 徳次郎